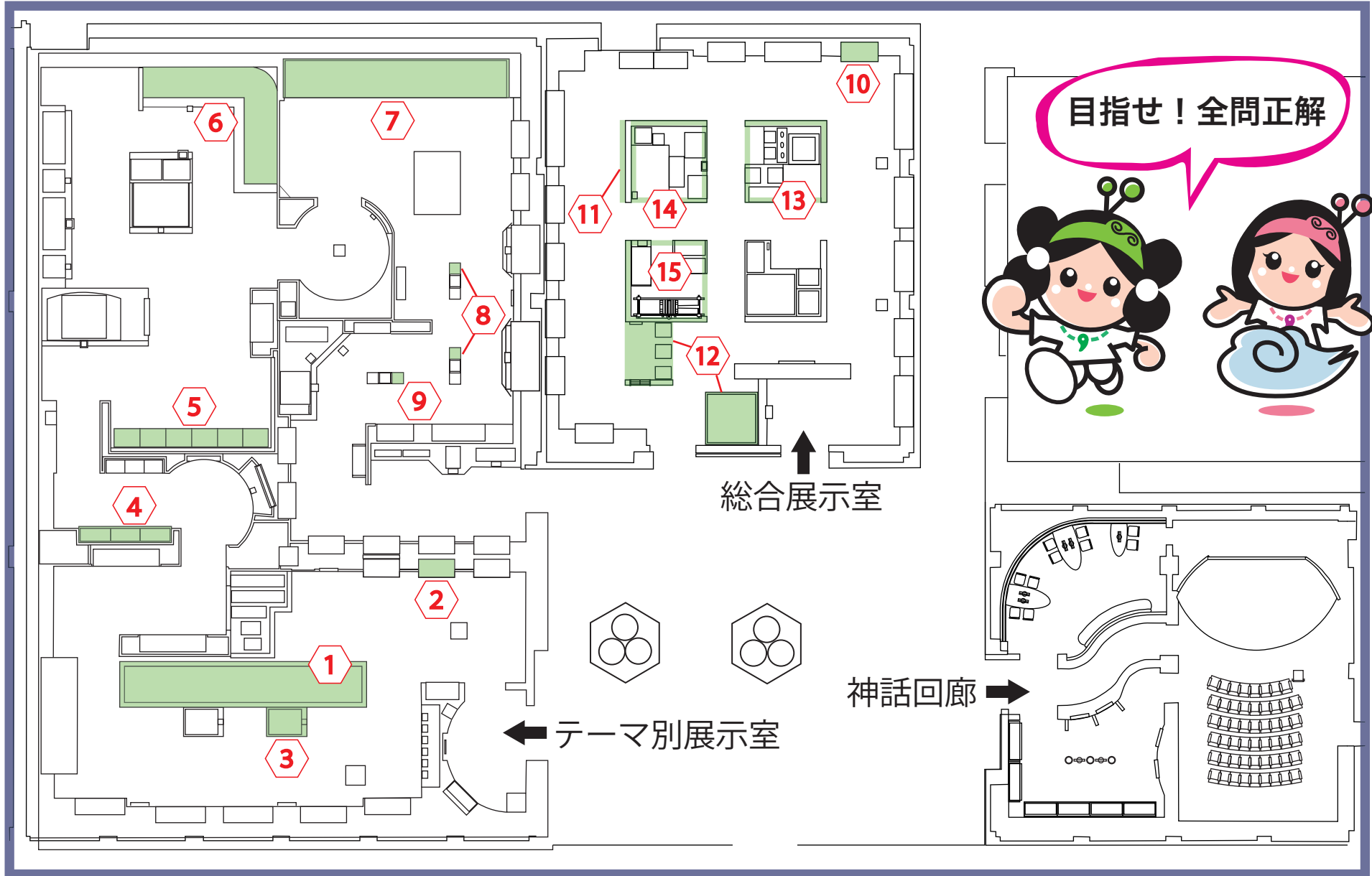


# 展示の見どころ🔍クイズラリー

古代出雲歴史博物館には、絶対に見のがせない展示品がたくさんあるよ。  
クイズに答えて「しまねの文化財」「しまねの歴史」を楽しく知ろう！



テーマ別展示室①  
「出雲大社と神々のまつり」

1 平安時代の出雲大社本殿ほんでん模型は1/10の大きさです。実際はどのくらいの高さがあったと伝えられているでしょうか？

- ア 博物館のエントランス棟の高さ (約10m)
- イ 4階建ての校舎の高さ (約20m)
- ウ 出雲ドームの高さ (約48m)

解答  
記入する→

テーマ別展示室①  
「出雲大社と神々のまつり」

2 平安時代に書かれた『口遊くちずさみ』という書物は、貴族の子どもたち用の教科書でした。当時、日本で最も大きな建物と考えられていた出雲大社は、何という言葉で書かれているのでしょうか？

- ア 大黒だいこく
- イ 雲太うんた
- ウ 宇豆うづ

解答  
記入する→

テーマ別展示室①  
「出雲大社と神々のまつり」

3 江戸時代の初めまでの出雲大社は、神社と寺が合体したような境内でした。その当時の出雲大社の復元模型ふくげんもけいを見てみましょう。寺に係する建物のうち、出雲大社に建っていないのは何でしょうか？

- ア 大仏殿だいぶつでん
- イ 三重塔さんじゅうのうとう
- ウ 鐘楼しょうろう

解答  
記入する→

テーマ別展示室②  
「出雲国風土記の世界」

4 奈良時代、全国60数か国で『風土記ふどき』が作成されましたが、現在まで伝わっているのは、『出雲国風土記』を含め、全部で何か国でしょうか？

- ア 5か国
- イ 25か国
- ウ 50か国

解答  
記入する→

テーマ別展示室②  
「出雲国風土記の世界」

5 奈良時代に書かれた『出雲国風土記』は、本のように綴じた形ではなく、この復元品ふくげんひんのように巻物まきものでした。では、全部でどのくらいの文字が書かれているのでしょうか？

- ア 約5,000字
- イ 約17,000字
- ウ 約30,000字

解答  
記入する→

テーマ別展示室②  
「出雲国風土記の世界」

6 朝酌促戸模型あさくみのせとは、奈良時代の市場いちばを再現しています。次のうち、市場で売っていないものはどれでしょうか？

- ア 乾しアワビほ
- イ 海苔のり
- ウ トマト

解答  
記入する→

テーマ別展示室③  
「青銅器と金色の大刀」

7 「青銅器せいどうき」は、青っぽい色のイメージがありますが、それは長い年月の間に付いたさびの色です。作られた当時の、さびる前の元の色は何色をしていたのでしょうか？

- ア 金色
- イ 赤色
- ウ 桃色

解答  
記入する→

テーマ別展示室③  
「青銅器と金色の大刀」

8 加茂岩倉遺跡かもいわくら いせきから出土した銅鐸どうたたくには様々な生き物が描かれています。銅鐸をよく観察してみてください。次のうち、描かれていないのはどれでしょうか？

- ア ウミガメ
- イ ネコ
- ウ シカ

解答  
記入する→

テーマ別展示室③  
「青銅器と金色の大刀」

9

この展示ケースの中にある銅鏡（三角縁神獣鏡）には、中国の年号が記されています。この銅鏡を中国からもらったのは誰だと考えられているでしょうか？

- ア 卑弥呼
- イ 聖徳太子
- ウ 聖武天皇

解答

記入する→



総合展示室  
（回廊部の時代順展示）

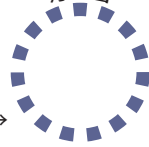
10

奈良時代には、各地の特産品を税として平城京（当時の都）に納めていました。荷物にくくりつけていた荷札木簡には、隠岐国の人たちが持って行った品物を書いてあります。何を納めていたでしょうか？

- ア 魚や貝などの海産物
- イ 隠岐牛
- ウ バラの花

解答

記入する→



総合展示室  
（回廊部の時代順展示）

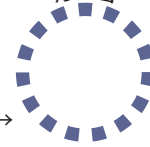
11

ここでは、歴代力士の中で最も背が高かった安来市出身の力士、大関釈迦ヶ嶽の等身大の絵が描かれています。身長は何m何cmあったといわれているのでしょうか？

- ア 1m87cm
- イ 1m90cm
- ウ 2m27cm

解答

記入する→



総合展示室  
（回廊部の時代順展示）

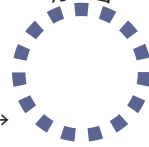
12

ここでは、昭和2年（1927）に製造された「デハ1形」の車両の一部を展示しています。昭和2年の運行開始から、実際にどのくらいの期間線路を走っていたのでしょうか？

- ア 約30年
- イ 約50年
- ウ 約70年

解答

記入する→



総合展示室  
（中央部の重点展示）

13

宍道湖の南には、良質なメノウがたくさん採れる「花仙山」という山があります。この地域は、古墳時代の終わり頃に、日本最大の玉製品生産地の一つでした。その名残を伝える地名が今も使われています。それは何という地名でしょうか？

- ア 石見
- イ 美郷
- ウ たまつくり玉造

解答

記入する→



総合展示室  
（中央部の重点展示）

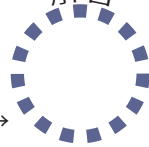
14

17世紀初めごろ、石見銀は、日本から世界へ輸出される銀のかなりの部分を占めていました。では、世界全体の銀の産出量のうち、日本の銀はどのくらいの量を占めていたのでしょうか？

- ア 約2分の1
- イ 約3分の1
- ウ 約6分の1

解答

記入する→



総合展示室  
（中央部の重点展示）

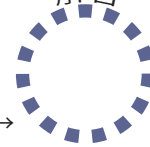
15

「天秤ふいご」は、炉の中に空気を送る足踏み式の装置です。「ふいご」を踏むのは重労働だったので、1時間ずつ交替して作業しました。この「ふいご」を踏む役名が語源となっている言葉は、次のうちどれでしょうか？

- ア 足軽
- イ 揚げ足
- ウ かわり番子

解答

記入する→



答え合わせは次のページへ

解答 テーマ別展示室①  
「出雲大社と神々のまつり」

1 平安時代の出雲大社本殿<sup>ほんでん</sup>模型は1/10の大きさです。実際はどのくらいの高さがあったと伝えられているでしょうか？

- ア 博物館のエントランス棟の高さ(約10m)
- イ 4階建ての校舎の高さ(約20m)
- ウ 出雲ドームの高さ(約48m)

解答  
ウ  
記入する→

解答 テーマ別展示室①  
「出雲大社と神々のまつり」

2 平安時代に書かれた『口遊<sup>くちずさみ</sup>』という書物は、貴族の子どもたち用の教科書でした。当時、日本で最も大きな建物と考えられていた出雲大社は、何という言葉で書かれているのでしょうか？

- ア 大黒<sup>だいこく</sup>
- イ 雲太<sup>うんた</sup>
- ウ 宇豆<sup>うづ</sup>

解答  
イ  
記入する→

解答 テーマ別展示室①  
「出雲大社と神々のまつり」

3 江戸時代の初めまでの出雲大社は、神社と寺が合体したような境内<sup>けいだい</sup>でした。その当時の出雲大社の復元模型<sup>ふくげんもけい</sup>を見てみましょう。寺に係する建物のうち、出雲大社に建っていないのは何でしょうか？

- ア 大仏殿<sup>だいぶつでん</sup>
- イ 三重塔<sup>さんじゅうのうとう</sup>
- ウ 鐘楼<sup>しょうろう</sup>

解答  
ア  
記入する→

解答 テーマ別展示室②  
「出雲国風土記の世界」

4 奈良時代、全国60数か国で『風土記<sup>ふどき</sup>』が作成されましたが、現在まで伝わっているのは、『出雲国風土記<sup>いずものくにふどき</sup>』を含め、全部で何か国でしょうか？

- ア 5か国
- イ 25か国
- ウ 50か国

解答  
ア  
記入する→

解答 テーマ別展示室②  
「出雲国風土記の世界」

5 奈良時代に書かれた『出雲国風土記』は、本のように綴じた形ではなく、この復元品<sup>ふくげんひん</sup>のように巻物<sup>まきもの</sup>でした。では、全部でどのくらいの文字が書かれているのでしょうか？

- ア 約5,000字
- イ 約17,000字
- ウ 約30,000字

解答  
イ  
記入する→

解答 テーマ別展示室②  
「出雲国風土記の世界」

6 朝酌<sup>あさくみのせと</sup>促戸<sup>いちは</sup>模型は、奈良時代の市場を再現しています。次のうち、市場で売っていないものはどれでしょうか？

- ア 乾シアワビ<sup>ほ</sup>
- イ 海苔<sup>のり</sup>
- ウ トマト

解答  
ウ  
記入する→

解答 テーマ別展示室③  
「青銅器と金色の大刀」

7 「青銅器<sup>せいどうき</sup>」は、青っぽい色のイメージがありますが、それは長い年月の間に付いたさびの色です。作られた当時の、さびる前の元の色は何色をしていましたでしょうか？

- ア 金色
- イ 赤色
- ウ 桃色

解答  
ア  
記入する→

解答 テーマ別展示室③  
「青銅器と金色の大刀」

8 加茂岩倉遺跡<sup>かもしわくら いせき</sup>から出土した銅鐸<sup>どうたく</sup>には様々な生き物が描かれています。銅鐸をよく観察してみてください。次のうち、描かれていないのはどれでしょうか？

- ア ウミガメ
- イ ネコ
- ウ シカ

解答  
イ  
記入する→

### 解答

#### テーマ別展示室③ 「青銅器と金色の大刀」

9

この展示ケースの中にある銅鏡（三角縁神獸鏡）には、中国の年号が記されています。

この銅鏡を中国からもらったのは誰だと考えられていますでしょうか？

ア 卑弥呼

イ 聖徳太子

ウ 聖武天皇

解答



記入する→

### 解答

#### 総合展示室 （回廊部の時代順展示）

10

奈良時代には、各地の特産品を税として平城京（当時の都）に納めてい

ました。荷物にくくりつけていた荷札木簡には、隠岐国の人たちが持って行った品物を書いてあります。何を納めていたでしょうか？

ア 魚や貝などの海産物

イ 隠岐牛

ウ バラの花

解答



記入する→

### 解答

#### 総合展示室 （回廊部の時代順展示）

11

ここでは、歴代力士の中で最も背が高かった安来市出身の力士、大関

釈迦ヶ嶽の等身大の絵が描かれています。身長は何m何cmあったといわれているのでしょうか？

ア 1m87cm

イ 1m90cm

ウ 2m27cm

解答



記入する→

### 解答

#### 総合展示室 （回廊部の時代順展示）

12

ここでは、昭和2年（1927）に製造された「デハ1形」の車両の一部を展示しています。

昭和2年の運行開始から、実際にどのくらいの期間線路を走っていたのでしょうか？

ア 約30年

イ 約50年

ウ 約70年

解答



記入する→

### 解答

#### 総合展示室 （中央部の重点展示）

13

宍道湖の南には、良質なメノウがたくさん採れる「花仙山」という山があります。

この地域は、古墳時代の終わり頃に、日本最大の玉製品生産地の一つでした。その名残を伝える地名が今も使われています。それは何という地名でしょうか？

ア いわみ 石見

イ みさと 美郷

ウ たまつくり 玉造

解答



記入する→

### 解答

#### 総合展示室 （中央部の重点展示）

14

17世紀初めごろ、石見銀は、日本から世界へ輸出される銀のかなりの部

分を占めていました。では、世界全体の銀の産出量のうち、日本の銀はどのくらいの量を占めていたのでしょうか？

ア 約2分の1

イ 約3分の1

ウ 約6分の1

解答



記入する→

### 解答

#### 総合展示室 （中央部の重点展示）

15

「天秤ふいご」は、炉の中に空気を送る足踏み式の装置です。「ふいご」

を踏むのは重労働だったので、1時間ずつ交替して作業しました。この「ふいご」を踏む役名が語源となっている言葉は、次のうちどれでしょうか？

ア あしがる 足軽

イ あし 揚げ足

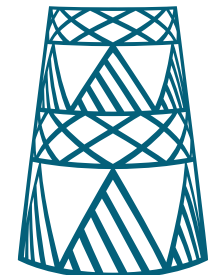
ウ かわり番子

解答



記入する→

何問正解できたかな？  
またチャレンジしてね



島根県立古代出雲歴史博物館  
Shimane Museum of Ancient Izumo

## テーマ別展示室①「出雲大社と神々の国のまつり」

【1】平安時代の出雲大社本殿模型は1/10の大きさです。実際はどのくらいの高さがあったと伝えられているのでしょうか？

- ア. 博物館のエントランス棟の高さ（約10m）
- イ. 4階建ての校舎の高さ（約20m）
- ウ. 出雲ドームの高さ（約48m）（正解はウ）

### 解説【1】

伝承では16丈（約48m）の高さがあったともいわれています。

【3】江戸時代の初めまでの出雲大社は、神社と寺が合体したような、「神仏一体」の神社でした。その当時の出雲大社の復元模型を見てみましょう。寺に関する建物のうち、出雲大社に建っていないのは何でしょうか？

- ア. 大仏殿
- イ. 三重塔
- ウ. 鐘楼（正解はア）

### 解説【3】

三重塔は兵庫県養父市八鹿町の名草神社に、鐘楼の梵鐘は福岡県福岡市早良区の西光寺に現存し、それぞれ、国の重要文化財に指定されています。

【2】平安時代に書かれた『口遊』という書物は、貴族の子どもたち用の教科書でした。当時、日本で最も高い建物と考えられていた出雲大社は、何という言葉で書かれているのでしょうか？

- ア. 大黒
- イ. 雲太
- ウ. 宇豆（正解はイ）

### 解説【2】

平安時代に書かれた『口遊』には、当時の大きな建物として「雲太、和二、京三」が挙げられています。それぞれ、出雲国の出雲大社本殿、大和国の東大寺大仏殿、平安京の大極殿を指しています。当時、大仏殿は高さ約一五丈（約45m）あったとされており、出雲大社はそれ以上あったという証だとされています。

## テーマ別展示室②「出雲国風土記の世界」

【4】奈良時代に全国 60 数か国で作成された『風土記』ですが、現在まで伝わっているのは『出雲国風土記』を含め、全部で何か国の『風土記』でしょうか？

ア. 5 か国    イ. 25 か国    ウ. 50 か国    (正解はア)

### 解説【4】

風土記は、奈良時代の 713 年に律令国家が各地に命じて編纂させたもので、現存するのは常陸国(茨城県)、播磨国(兵庫県)、出雲国(島根県)、肥前国(長崎県・佐賀県)、豊後国(大分県)の 5 か国だけです。その中でも、ほぼ完全な形で伝わっているのは『出雲国風土記』のみです。

【6】朝酌促戸(現在の松江市)模型は、奈良時代の市場を再現したものです。市場で売っていないものは次のうちどれでしょうか？

ア. 乾しアワビ    イ. 海苔    ウ. トマト    (正解はウ)

### 解説【6】

『出雲国風土記』には朝酌促戸には市が開かれていたと書かれています。朝酌のある嶋根郡には「志毗(マグロ)」「石華(カメノテ)」「鎮仁(クロダイ)」などの記述があります。再現は、「鮑魚(干しあわび)」「紫菜(干しのり)」などの『出雲国風土記』の記述や同時代の遺跡の出土品から行っています。

【5】奈良時代に書かれた『出雲国風土記』は、本のように綴じた形ではなく、復元品のように巻物でした。では、全部でどれくらいの文字が書かれているでしょうか。

ア. 約 5,000 字    イ. 約 17,000 字    ウ. 約 30,000 字  
(正解はイ)

### 解説【5】

『出雲国風土記』は上下 2 巻の巻物だったと考えられており、合わせて約 17,000 字で書かれています。その内容は地名の由来、神社、山や河川、動物や植物、交通路など多岐にわたっており、奈良時代の出雲国の様子を詳細に知ることができます。

### テーマ別展示室③「青銅器と金色の大刀」

【7】「青銅器」は、青っぽい色のイメージがありますが、それは長い年月のために付いたさびの色です。作られた当時の、さびる前の元の色は何色をしていたでしょうか？

ア. 金色    イ. 赤色    ウ. 桃色    （正解はア）

#### 解説【7】

「青銅」とは銅（Cu）を主成分に錫（Sn）を含む合金です。溶かした合金を鑄型に流し込んで作るため、流れやすく低い温度で溶かせるよう鉛（Pb）などの金属も混ぜます。金属の配合で色が変わり、錫が多いと白銀色に、少ないと赤銅色になります。

【8】加茂岩倉遺跡から出土した銅鐸には様々な生き物が描かれています。銅鐸をよく観察してみてください。次のうち、描かれていないのはどれでしょうか？

ア. ウミガメ    イ. ネコ    ウ. シカ    （正解はイ）

#### 解説【8】

加茂岩倉10号銅鐸の「鈕」といわれる銅鐸の持ち手に「ウミガメ」が、加茂岩倉35号銅鐸の胴体右上の枠内に「シカ」が描かれています。荒神谷遺跡出土の銅剣と同じように加茂岩倉遺跡出土の銅鐸の鈕にも「×」が描かれたものがあります。

【9】この展示ケースの中にある銅鏡（三角縁神獣鏡）には、中国の年号が記されています。では、この銅鏡を中国からもらったのは誰だと考えられているのでしょうか？

ア. 卑弥呼    イ. 聖徳太子    ウ. 聖武天皇    （正解はア）

#### 解説【9】

神原神社古墳から出土した銅鏡には「景初三年」という文字が記されています。「景初」は中国の魏の年号で「三年」は邪馬台国の卑弥呼が魏に使いを出した年（西暦239年）にあたります。



## 総合展示室（回廊部の時代順展示）

【10】奈良時代には、各地の特産品を税として平城京（当時の都）に納めていました。荷物にくくりつけられていた荷札木簡には、おきのくに 隠岐国の人たちが持って行った品物を書いてあります。何を納めていたでしょうか？

- ア. 魚や貝などの海産物    イ. おきうし 隠岐牛    ウ. バラの花

（正解はア）

### 解説【10】

税の品物に付けられた荷札である木簡には納税者の本籍地、氏名、税の品目数量、納めた年などが記されています。海産物である「ワカメ」「アワビ」「サザエ」「イカ」などが書かれています。

【12】ここには、昭和2年（1927）に製造された「デハ1形」の車両の一部を展示しています。昭和2年の運行開始から、実際にどれくらいの期間線路を走っていたでしょうか？

- ア. 約30年    イ. 約50年    ウ. 約70年    （正解はウ）

### 解説【12】

電車は昭和2年(1927)に製造され、平成8年(1996)まで現役でした。

【11】ここには、歴代力士の中で最も背が高かった安来市出身の力士、大関 釈迦ヶ嶽の等身大の絵が描かれています。身長は何m何cmあったといわれているのでしょうか？

- ア. 1m87cm    イ. 1m90cm    ウ. 2m27cm

（正解はウ）

### 解説【11】

島根県は、隠岐の古典相撲や「野見宿禰」の力くらべなど相撲とゆかりの深い土地柄です。大関釈迦ヶ嶽は身長2m27cm、体重180kgあったとされる松江藩お抱え力士です。

## 総合展示室（中央部の重点展示）

【13】宍道湖の南には、良質なメノウがたくさん採れる「花仙山」という山があります。この地域は、古墳時代の終わり頃に、日本最大の玉製品生産地の一つでした。その名残を伝える地名が今も使われています。それは何という地名でしょうか？

- ア. いわみ 石見    イ. みさと 美郷    ウ. たまつくり 玉造    （正解はウ）

### 解説【13】

「玉造」の地名は松江市玉湯町にあり、玉造温泉で有名です。玉湯川の周辺には数多くの玉作遺跡が知られ、「出雲玉作史跡公園」には玉作工房と考えられる竪穴建物が復元されています。

## 総合展示室（中央部の重点展示）

【14】17世紀初めごろ、石見銀<sup>いわみぎん</sup>は、日本から世界へ輸出される銀のかなりの部分を占めていました。世界全体の銀の産出量のうち、日本の銀はどれくらいの量を占めていたのでしょうか？

- ア. 約2分の1    イ. 約3分の1    ウ. 約6分の1

（正解はイ）

### 解説【14】

銀鉱山である石見銀山<sup>いわみぎんざん</sup>遺跡は平成19年（2007）に世界遺産に登録されました。当時の銀は貿易を通じて東アジアに流通し、金銀や香辛料等を求めて世界に活動範囲を広げていたヨーロッパ人も東アジア貿易に参入し、東西の経済や文化交流が盛んになりました。

【15】「天秤<sup>てんびん</sup>ふいご」は、炉<sup>ろ</sup>の中に空気を送る足踏<sup>あしぶ</sup>み式の装置です。「ふいご」を踏むのは重労働だったので、1時間ずつ交替して作業しました。この「ふいご」を踏む役名<sup>やくめい</sup>が語源<sup>ごげん</sup>となっている言葉は、次のうちどれでしょうか？

- ア. 足軽<sup>あしがる</sup>    イ. 揚げ足<sup>あげあし</sup>    ウ. かわり番子<sup>ばんこ</sup>    （正解はウ）

### 解説【15】

粘土で築いた炉で大量の砂鉄<sup>まてつ</sup>を溶かすためには、炉の中に常に空気を送って木炭を燃やし、高温を保つ必要があります。この「天秤ふいご」は明治時代に使用されたとみられる装置で、絵図に残された設計図から復元しました。

製鉄技術は1400年以上前から発達を始め、江戸時代から明治時代にかけて最も盛んになり、当時の島根県の生産量は、全国生産量の半分以上を占めていました。